2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月４日

上場会社名	株式会社SM ENTERTAINMENT JAPAN		上場取引所　東
コード番号	4772　　ＵＲＬ　https://www.smej.co.jp		
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）金　東佑	
問合せ先責任者	（役職名）取締役管理部門長	（氏名）金　亨柱	ＴＥＬ　03-6809-6118
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	8,736	17.1	281	24.9	325	37.5	668	45.1
2025年12月期第３四半期	7,463	△0.8	225	△38.1	236	△35.2	460	49.8

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　△170百万円（－%）　2025年12月期第３四半期　636百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	5.77	―
2025年12月期第３四半期	3.98	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	14,595	7,514	48.2
2025年12月期	14,532	7,922	49.8

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　7,032百万円　2025年12月期　7,238百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	2.00	2.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期（予想）				1.00	1.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,089	△10.8	247	42.4	257	32.4	253	△32.5	2.19

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	115,904,831株	2025年12月期	115,904,831株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	9,960株	2025年12月期	9,930株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	115,894,888株	2025年12月期3Ｑ	115,894,901株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信［添付資料］３ページ １．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く市場環境につきましては、国内外のアーティストによる活発な興行展開や「推し活」需要の安定的な拡大を背景に、ライブ・エンターテインメント市場は引き続き活況を呈し、着実な成長を維持いたしました。一方、放送・メディア業界におきましては、大手配信事業者（OTT）の台頭によるコンテンツ獲得競争の激化、広告収入の低迷など、厳しい市場環境が続いております。さらに、世界的な物価高や円安に伴うコスト増など、事業運営を取り巻く不確実性も高まっております。

このような環境下、エンターテインメント事業におきましては、大規模会場での興行が集中した上期からの流れを受け、ファンとの継続的な関係構築を重視した事業展開を推進いたしました。主力アーティストによるファンクラブ限定イベントやソロ・ユニットでのコンサートを機動的に開催し当第３四半期において28公演を実施した結果、当第３四半期連結累計期間において計69公演で約90万人を動員しました。また周辺事業におきましては、POPUPイベント等の開催により高水準なグッズ売上を確保したほか、広告出演契約も堅調に推移いたしました。さらに、自社オリジナルIPや若手アーティストにつきましては、多様なメディア露出を通じて、市場における存在感の向上とブランド認知の浸透を図りました。

ライツ＆メディア事業におきましては、ライツ事業ではコンテンツの厳選調達や共同投資スキームの活用により新たなリスクを抑えた事業運用を徹底し、メディア事業ではグループ間シナジーを活用したプレミアムコンテンツの安定供給により視聴者の解約防止に努めました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の売上高8,736百万円（前年同期比17.1%増）、営業利益は281百万円（前年同期比24.9%増）、経常利益は325百万円（前年同期比37.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は668百万円（前年同期比45.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

（エンターテインメント事業）

本セグメントにおきましては、上期に実施したドーム・スタジアム級の大型興行で醸成されたファンの熱気を維持しながら、主力アーティストの継続的な活動展開と、次世代アーティストの対外的露出の強化を推進することで、新規ファン層の開拓にも取り組みました。コンサート事業におきましては、「RIIZE JAPAN FANMEETING 2026 RPG - RIIZE PLAYING GAME-」や「MY-J presents aespa JAPAN FANMEETING 2026 “MY CLASSMaeTE”」等の各アーティスト独自のコンセプトを取り入れたファンクラブ限定イベント（ファンミーティング）を集中的に配置したほか、SUPER JUNIORのRYEOWOOKや、LEETEUKとHEECHULによる“SUPER JUNIOR 83z”等、ソロやユニットでの公演を実施いたしました。さらに、夏フェスをはじめとする大型イベントへの積極的な参加や番組出演等を重ねることで、大型興行の端境期においてもアーティストの活動機会を創出し、安定的な事業稼働を達成いたしました。周辺事業におきましては、新曲リリースに連動したPOPUPイベントの展開に加え、ファンのニーズを的確に捉えた商品の企画・販売が好評を博し、MD売上の伸長に大きく寄与いたしました。また、主要IPの日本市場における高い知名度とブランド力を背景とした堅調な広告出演契約に加え、相次ぐリリース楽曲の好成績がセグメント全体の業績を大きく押し上げ、大型興行に過度に依存しない多角的な収益構造の定着が進展いたしました。オリジナルIPにおきましては、将来的な収益化に向けた重要な基盤構築期と位置付け、ガールズグループ「GPP」やバーチャルアーティスト「Kiepi」の各種メディア露出や外部イベントへの精力的な出演によって、認知度の向上と自社IPホルダーへの転換に向けた土台構築を着実に推し進めております。

この結果、売上高は6,954百万円（前年同期比23.9%増）、セグメント利益は595百万円（前年同期比48.0%増）となりました。

（ライツ＆メディア事業）

本セグメントにおきましては、アジア圏のドラマやバラエティなど、多様なコンテンツの調達に注力いたしました。視聴形態の多様化に伴う有料多チャンネル市場の縮小など、構造的な市場環境の変化が続く中、グループ内のIPを活用したプレミアムコンテンツの放送を通じて、視聴者数の維持と解約防止に努めました。また、前四半期に引き続き、コンテンツ・ポートフォリオ刷新の移行に伴う費用負担や世界的な製作費の高騰、為替変動の影響により大幅減益となりましたが、コンテンツの厳選調達やパートナー企業との共同投資によるリスク分散やコスト管理の徹底を図り、事業全体の効率化を推進しております。

この結果、売上高は1,782百万円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益は42百万円（前年同期比79.4%減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の総資産は14,595百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円増加いたしました。流動資産は14,303百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,633百万円増加いたしました。その主な要因は、現金及び預金が1,095百万円増加、売掛金が480百万円増加したことによるものであります。また、固定資産は292百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,570百万円減少いたしました。その主な要因は、投資有価証券が1,573百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末の負債は7,080百万円となり、前連結会計年度末に比べ469百万円増加いたしました。流動負債は7,079百万円となり、前連結会計年度末に比べ976百万円増加いたしました。その主な要因は、買掛金が823百万円増加したことによるものであります。また、固定負債は１百万円となり、前連結会計年度末に比べ506百万円減少いたしました。その主な要因は、繰延税金負債が493百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末の純資産は7,514百万円となり、前連結会計年度末に比べ407百万円減少いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益668百万円により増加したものの、剰余金の配当231百万円により利益剰余金が減少、その他有価証券評価差額金が642百万円減少及び非支配株主持分が196百万円減少したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年２月10日の「2025年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。今後状況の進展や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,704,305	4,799,984
売掛金	5,512,671	5,993,066
商品	－	16,003
番組勘定	270,826	171,956
コンテンツ事業権	1,753,506	1,496,431
前渡金	558,313	427,220
立替金	527,542	972,215
その他	348,278	432,422
貸倒引当金	△5,142	△5,839
流動資産合計	12,670,302	14,303,462
固定資産		
有形固定資産	18,995	24,854
無形固定資産	4,921	7,564
投資その他の資産		
投資有価証券	1,573,183	－
長期貸付金	90,577	87,577
繰延税金資産	94,038	94,038
その他	199,077	196,331
貸倒引当金	△118,133	△118,131
投資その他の資産合計	1,838,742	259,815
固定資産合計	1,862,659	292,234
資産合計	14,532,961	14,595,696
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,160,215	5,983,581
契約負債	342,917	407,656
賞与引当金	46,029	－
その他	554,001	688,683
流動負債合計	6,103,163	7,079,921
固定負債		
繰延税金負債	493,668	－
その他	14,065	872
固定負債合計	507,733	872
負債合計	6,610,897	7,080,794
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	5,988,803	5,988,803
利益剰余金	590,116	1,026,924
自己株式	△33,136	△33,139
株主資本合計	6,595,783	7,032,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	642,628	－
その他の包括利益累計額合計	642,628	－
新株予約権	231,962	226,785
非支配株主持分	451,689	255,527
純資産合計	7,922,064	7,514,901
負債純資産合計	14,532,961	14,595,696

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	7,463,697	8,736,831
売上原価	5,906,378	7,076,771
売上総利益	1,557,319	1,660,059
販売費及び一般管理費	1,332,229	1,379,004
営業利益	225,089	281,055
営業外収益		
受取利息	5,865	11,231
受取配当金	8,019	12,166
為替差益	－	1,183
業務受託料	2,379	6,210
債務勘定整理益	－	12,220
その他	192	1,393
営業外収益合計	16,456	44,405
営業外費用		
支払利息	36	25
為替差損	4,771	－
営業外費用合計	4,807	25
経常利益	236,738	325,435
特別利益		
投資有価証券売却益	－	827,482
新株予約権戻入益	233,487	5,176
特別利益合計	233,487	832,659
特別損失		
減損損失	157	－
特別損失合計	157	－
税金等調整前四半期純利益	470,068	1,158,095
法人税、住民税及び事業税	7,169	248,774
法人税等合計	7,169	248,774
四半期純利益	462,899	909,320
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△2,114	240,723
親会社株主に帰属する四半期純利益	460,785	668,597

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	462,899	909,320
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	173,886	△1,079,514
その他の包括利益合計	173,886	△1,079,514
四半期包括利益	636,786	△170,193
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	564,299	25,968
非支配株主に係る四半期包括利益	72,487	△196,162

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	8,182千円	12,458千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	エンター テインメント 事業	ライツ＆ メディア 事業	計	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	5,612,495	1,851,202	7,463,697	7,463,697
外部顧客に対する売上高	5,612,495	1,851,202	7,463,697	7,463,697
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	1,850	1,850	1,850
計	5,612,495	1,853,052	7,465,547	7,465,547
セグメント利益	402,044	207,523	609,568	609,568

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	609,568
全社費用（注）	△384,478
四半期連結損益計算書の営業利益	225,089

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに配賦していない管理部門等に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	エンターテインメント事業	ライツ＆メディア事業	計	
売上高				
顧客との契約から生じる収益	6,954,357	1,782,473	8,736,831	8,736,831
外部顧客に対する売上高	6,954,357	1,782,473	8,736,831	8,736,831
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	1,600	1,600	1,600
計	6,954,357	1,784,073	8,738,431	8,738,431
セグメント利益	595,120	42,666	637,787	637,787

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	637,787
全社費用（注）	△356,731
四半期連結損益計算書の営業利益	281,055

（注）　全社費用は、主に報告セグメントに配賦していない管理部門等に係る費用であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。